



mSATA モジュールの取り付け

この章では、Cisco IR829M および IR829B サービス統合型ルータ（ISR）で利用できる mSATA SSD の概要を示します。mSATA SSD には追加のフラッシュメモリストレージを備え、IR829M/IR829B プラットフォームの mSATA SSD スロットを専有します。

- [mSATA SSD モジュールの取り付け（1 ページ）](#)

mSATA SSD モジュールの取り付け

Mini-SATA または mSATA は、ソリッドステートドライブ（SSD）など、名刺に近いサイズの小型フォームファクタドライブでのより効果的なシリアル ATA（SATA）統合を可能にするロープロファイルインターフェイス コネクタです。

この章では、Cisco IR829M および IR829B サービス統合型ルータ（ISR）で利用できる mSATA SSD の概要を示します。mSATA SSD には追加のフラッシュメモリストレージを備え、IR829M/IR829B プラットフォームの mSATA SSD スロットを専有します。

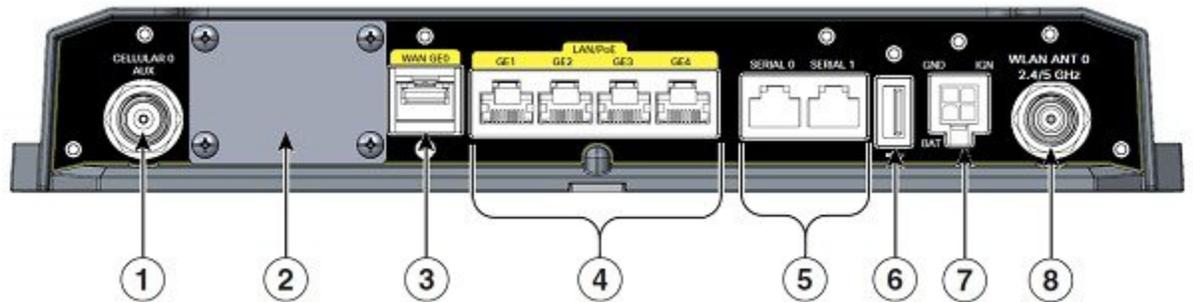
取り付け手順

Note : リストストラップや静電気防止マットなどの適切な静電気除去法を使用していることを確認します。

Caution : モジュールの取り外しまたは取り付けを行う前に、デバイスの電源がオフになっていることを確認します。

mSATA SSD モジュールを品目番号 2 に示されているスロットに差し込みます。 [図 1 : Cisco IR829 デュアルモデムの前面パネル（2 ページ）](#)

図 1: Cisco IR829 デュアルモデムの前面パネル



1	CELLULAR 0 AUX	5	シリアルポート
2	mSATA SSD スロット	6	USB 2.0 タイプ A ポート
3	ギガビット WAN (SFP)	7	電源入力、バッテリー、およびイグニッションコネクタ。DC 電源の項のピン配置を参照してください。
4	ギガビットイーサネット LAN/PoE (RJ45)	8	WLAN ANT 0 2.4/5.0 GHz

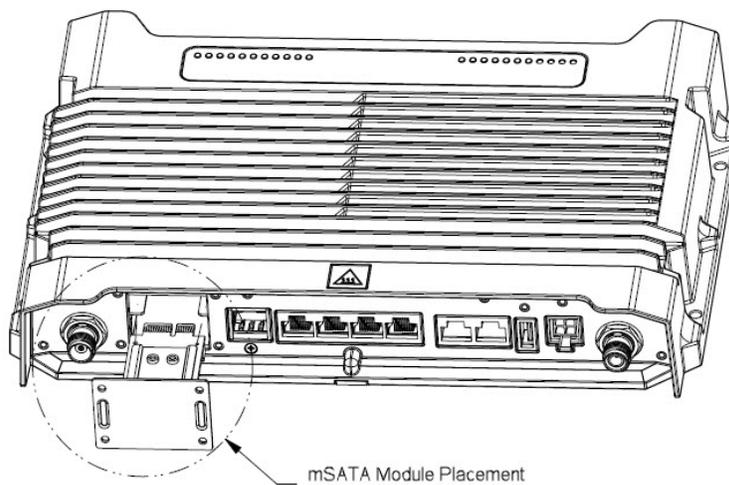
モジュールを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. 制限付きモジュラリティスロットのカバーを固定している 4 本のネジを取り外します。既存のモジュールを交換する場合は、後で新しいモジュールを取り付ける際に使用できるように脇に置いておきます。モジュールを初めて取り付ける場合は、モジュールに付属のネジを使用します。

2. mSATA SSD モジュールを IR829 のスロットに挿入します。モジュールは、mSATA SSD 底部プレートと mSATA SSD PCB の間にある IR829 メタルガイドレールとともに挿入します。

モジュールの配置については [図 2: モジュールの取り付け \(3 ページ\)](#) を参照してください。

図 2: モジュールの取り付け



3. mSATA SSD モジュールの配置が正しいことを確認します。間違えて取り付けると、モジュールまたは IR829 を破損することがあります。正しい位置に取り付けるには、3つの詳細な図、[図 3: モジュールの配置 \(詳細 1\)](#) (3 ページ)、[図 4: モジュールの配置 \(詳細 2\)](#) (4 ページ)、および [図 5: モジュールの配置 \(詳細 3\)](#) (4 ページ) を参照してください。

図 3: モジュールの配置 (詳細 1)

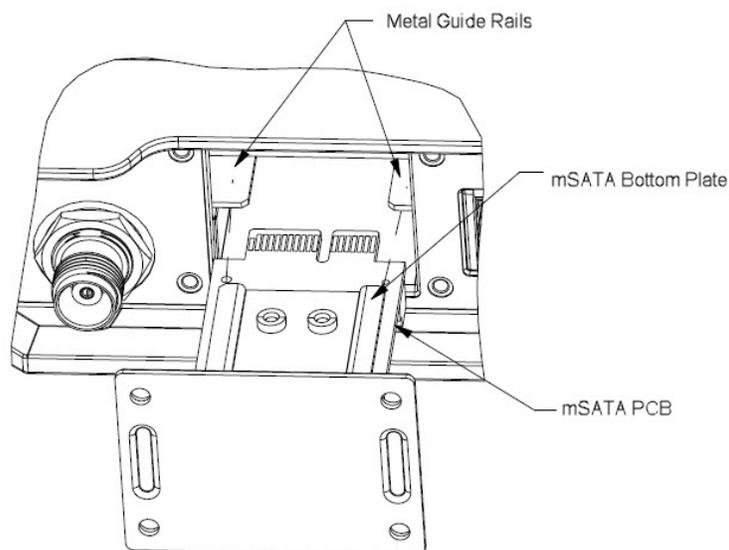


図 4: モジュールの配置 (詳細 2)

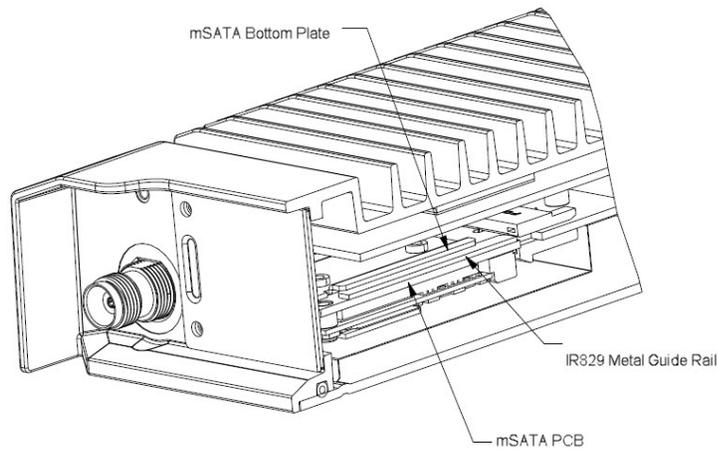
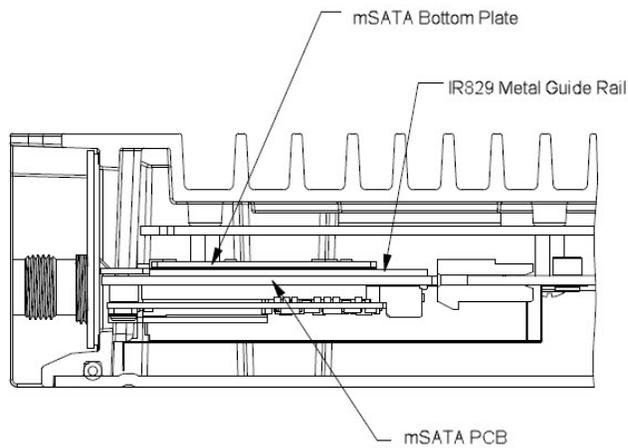
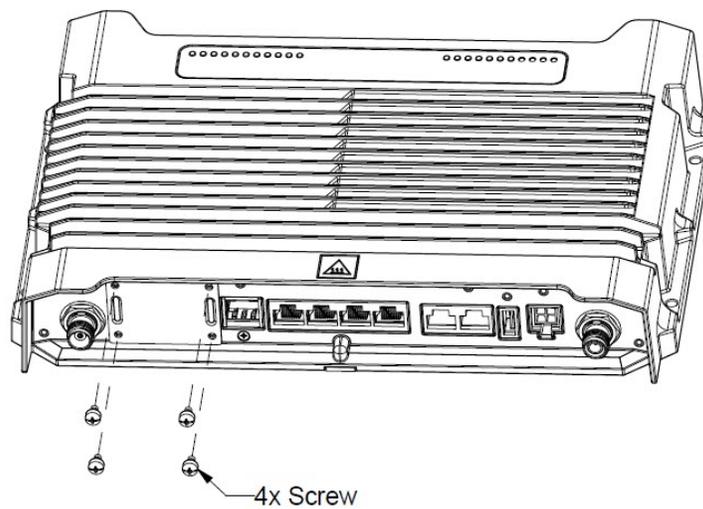


図 5: モジュールの配置 (詳細 3)



4. モジュールを正しく挿入したら、4本のネジを横においてからモジュールプレート^①を IR829 に固定します。ネジは 5〜6 インチポンド (0.6 Nm) のトルクで締める必要があります。[図 6 : 新しい mSATA SSD モジュールの固定 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

図 6:新しい mSATA SSD モジュールの固定



5. これで取り付けは完了しました。完了したインストールを[図 7: 取り付け完了後](#) (5 ページ) に示します。

図 7: 取り付け完了後



